

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22.5～25.5℃台を示し、やや低い～平年並の水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げ（前年を上回った）。
- イカ釣り——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の54%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり78kgの水揚げで、前週の9%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週の21%（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、カンパチなどが1日1統当たり206kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり1.5トンの水揚げ。対馬東岸地区では、カマスなどが1日1統当たり213kgの水揚げ。
- 一本釣り——北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり42kgの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。
- 延縄——北松小値賀地区では、キダイが1日1統当たり53kgの水揚げ（前年を上回った）。
- ヒウ船曳——北松生月地区では、小トビ主体に1日1統当たり71kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。10月8日で今期の漁を終了した。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/4～10/9）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～新潟沖～山形沖～秋田沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

境港基地の小型イカ釣り船 5日延55隻入港、総計3533箱、1航海最高383箱、平均64.2箱、ケンサキを中心に漁獲、魚立は3立・4立入主体。

ケンサキイカは隠岐海峡周辺海区で漁場が形成された。

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第30-35号 長崎県周辺海域の海面水温（10月号）・第30-36号 10月に実施した観測結果」をホームページに掲載しました。

ホームページ <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>